

令和7年度の活動報告について

こども分科会

(1) 創造性をはぐくむ保育実践事業

こどもと共に歩むまちづくりビジョンver.1の策定

策定背景

こどもと大人が互いに学び合い、
市民一人ひとりが創造性を発揮することで
「帰ってきたくなる・住み続けたくなる加賀市」を実現したい！

大切にしたい視点「3つの視点」

- こどもの声を聴く（聴く）
こどもは豊かな創造性をもつ一市民
子どもたちの声を丁寧に聴くことから始める
- こどもと大人の協働によるまちづくり（動く）
大人も創造性を発揮し、こどもと大人「双方向」で学び、実行する
- 世代をつなぐ持続可能で創造的なコミュニティづくり（育てる）
まちづくりのプロセスにこどもも参加することで
新しい視点が吹き込まれ、創造的なコミュニティが生まれる

まち(市民)からこどもへのアプローチを意見聴取を行い、version.1に反映

2025年

2026年3月

①【第7回地域共生社会全国推進サミット】

～子どもたちの笑顔がいきかう地域の取り組み～
こどもの居場所がある地域づくり

②【ワークショップの開催】

「こどもと共に歩むまちづくり」で
加賀市の未来を描く市民ワークショップ

③【加賀市の保育のみらい2025-2026】

オープンダイアログ・ワークショップ
「こどもたちとまち」

意見聴取

こどもと共に歩む
まちづくり
version.1

こどもからまち(市民)へのアプローチ

こどもの姿、学びの様子を提供



出典：はじめの100か月の育ちビジョン

加賀市の未来を描く市民ワークショップ

日 時 2025年12月13日（土）13時00分～15時30分
2026年 1月16日（金）18時00分～20時30分

会 場 加賀市イノベーションセンター

内 容 【第1回】
・こどもと共に歩むまちづくりって？ 43名
【第2回】
・こどもと共に歩む先の加賀市の未来を創造しよう！ 35名

目 的 「こどもと共に歩むまちづくりビジョンver.1」策定のため、大切にしたい価値観を市民と共有し、参加者から幅広く意見やアイデアを募る。
こどもの生まれながらにもつ有能性や創造性への理解を深め、「まちからこどもへ」の意識醸成を図る。





アクションカード ①



加賀市一周バスで
まちを巡ってみる

いつもとちがう景色が見えて、
「こんな場所あったんだ」
ってなるかもね!

アクションカード ②



同じ道を、
違う時間帯に
歩いてみる

朝と夕方、道の顔が
変わって見えるかもしれないよ?

アクションカード ③



写真を撮って、
「なぜ撮ったか」
を話してみる

どうして撮りたくなったのか、
話してみると気持ちわかるかも!

アクションカード ④



まちを歩く速さを
ゆるめてみる

ゆっくり歩くと、
今まで気づかなかった景や景色が
あるかもね!

アクションカード ⑤



温泉やお風呂で、
今日の出来事を
話してみる

あったまっていると、
今日のことを
話したくなるかもしれないよ?

加賀市の保育のみらい2025-2026

日 時 2026年2月1日（日）10時30分～16時00分

会 場 加賀市市民会館3階 大ホール

内 容

【第1部】10時30分～12時30分

- ・加賀市保育ビジョン進捗説明
- ・こどもと共に歩むまちづくりワークショップ実施報告
- ・オープンダイアログ・ワークショップ

「こどもたちとまち」

登壇者：松本 理寿輝 氏（まちの研究所(株)代表取締役）
馬場 正尊 氏（株オープン・エー代表取締役）
中村 純二 氏（NPO法人カタリバ プロジェクトマネージャー）
黒谷 京子 氏（南郷地区まちづくり協議会事務局）

【第2部】13時30分～16時00分

- ・実践事例報告会 「こどもの視点からみるまち」

報 告：スワトン保育園 松村 里美
山中中央保育園 丸山 大貴
動橋保育園 潮津 由香

進 行：山岸 日登美 氏（まちの保育園・こども園パナソニックグループディレクター）

登壇者：秋田 喜代美 氏（学習院大学教授/東京大学名誉教授）



(2) プレコンセプションケア推進事業 (ライフデザイン推進事業)

子育て応援ステーション

【事業の目的】

若年世代の男女が、将来のライフデザイン（人生設計）に資する視点と自分の身体に関心を持ち、将来、希望する方が、安心安全で健やかな妊娠出産に備えた健康管理に取り組むためのプレコンセプションケアを普及啓発する。

対象者層

プレコンセプションケア推進事業

基礎疾患がある妊産婦や妊娠を希望する方

専門的な相談支援体制の強化

- ・いしかわ妊娠相談ダイヤルの周知・啓発
- ・いしかわプレ妊活健診事業の周知・啓発

将来の妊娠・出産やライフデザインに関心がある若年世代

医療機関での相談支援の推進

新規 プレコンセプションケア検査

若い世代が妊孕性も含めた健康づくりの支援として、希望者に身体計測やAMH（卵巣予備能）検査の血液検査等を実施。検査結果をもとに医師からの結果説明とアドバイスを実施。（市内2医療機関実施中）

行政機関、保健医療機関、企業人事部門、学校関係者など広範な人々

「プレコンケア」概念の幅広い普及

- 新規 (1) 住民向けライフデザイン周知啓発講座
- (2) 子どもの命を大切にする周知啓発事業
- 新規 (3) 若者向けライフデザインセミナー
- 新規 (4) 市内事業所の健康管理対策実態調査

「プレコンケア」概念の幅広い普及

(1) 住民向けライフデザイン周知啓発講座

- ①若者世代応援セミナー「3世代で考えるプレコンセプションケア」
開催日：令和7年11月1日（土）
講 師：金沢医科大学総合内科学臨床教授
女性総合医療センター長 赤澤純代先生
参加者：68名（10代～70代の男女が参加）

- ②KAGA健康フェスタ啓発ブース
開催日：令和7年11月8日（土）
会 場：加賀看護学校
内 容：啓発ブースの設置、動画の放映等
来場者：115名（啓発ブース対応数）



※動画：ライフデザイン推進機構作成

(2) 子どもの命を大切にする周知啓発事業

- ・母子手帳交付時にマタニティキーホルダーの配布
- ・KAGA健康フェスタでおなかの赤ちゃんを大切にする普及啓発コーナー、子育て情報の紹介



(3) 若者向けライフデザインセミナー

- ①助産師派遣講座（赤ちゃんふれあい体験（生涯学習課）同時開催）
小学生に赤ちゃんの発育発達や接し方を学び、乳幼児とのふれあい・親へのインタビューから、命の大切さや親への感謝を考える講座を実施（講師：助産師、協力：子育てコーディネーター、市内在住親子）
開催数：9校 参加者数：300名
- ②若者向けライフデザインセミナー
若者世代の男女が、将来の健やかな妊娠出産に備えた健康管理について、正しい知識を得て、健康的な生活習慣やライフデザイン（人生設計）を考える講座を実施（講師：助産師）
開催数：6回 参加者数：205名（市内高校生・看護学生）

(3) 地域子育て相談機関（児童センター）について

新規

妊産婦、子育て世帯、こども等が気軽に相談できる身近な相談窓口として、市内6か所の児童センターにおいて、地域子育て相談機関を開設（令和7年5月から）

1 相談支援

- ・日常的に立ち寄り日常会話の延長で、相談支援につながるケースが多い。
- ・0歳児から高校生の保護者まで、様々な相談がある。
- ・相談支援件数79件（R7.5～8.1末延件数）

2 関係機関連携・後方支援

- ・子育て応援ステーション地区担当職員は、児童センター支援員と支援方針を検討し後方支援を行っている。
- ・ケース検討会議により、関係機関と連携した支援
- ・ケース検討会議参加10ケース（R7.5～8.1末実ケース数）

3 育成支援

○子育て応援ステーション主催

- ・4/4所長説明会（事業説明・意見交換） 所長6名参加
- ・4/10厚生員説明会（ // ） 厚生員11名参加
- ・6/20厚生員連絡会（ // ） 厚生員7名参加
- ・6/20子育て講座参加（ペアトレ） 厚生員7名参加
- ・10/23面接技術研修（ロールプレイ） 26名参加
- ・ネットワーク連絡会（年間4回：講義・事例検討等）

○県少子化対策監室主催

- ・子育て支援員地域型保育研修 専任職員1名参加
- ・子育て支援コーディネータ研修 専任職員2名参加



加賀市公立保育園再編基本計画について

加賀市公立保育園再編基本計画の概要

【策定】

平成28年3月

【計画期間】

平成28年度から令和8年度 ※令和6年12月に計画期間の延長を公表（令和6年度末から令和8年度末に延長）

【計画策定の趣旨】

近年の急激な少子化や、子育て世代を取り巻く社会環境の変化、保護者のニーズが多様化している中で、市内の保育園児童数の約3分の2は法人立保育園へ入園する一方で、各地域の公立保育園は小規模化し、子どもの「社会性の育ち」を担保する集団保育の実施が難しくなっています。

そのため、これらの保育の課題に対応し、「こどもたちの健やかな育ち」のための環境を整備することを目的とし、公立保育園の再編基本計画を策定しております。

令和8年度で計画が最終年度を迎えることから、計画の見直しを行います。

加賀市公立保育園再編基本計画の概要

【実施方針】

子どもの「社会性の育ち」を担保する集団保育の観点から、適正規模による保育運営を目指します。

- (1) 公立保育園の1クラスあたりの標準規模20人程度を目指す。
- (2) 再編は、児童数30人未満の小規模園を優先して行うこととし、最長で3年間を目途に統合する。
- (3) 児童数30人以上、80人未満の標準未満園は、暫定敵に継続することとし、児童数の推移を見ながら再編時期の検討を行う。
- (4) 法人立保育園が乳児保育や特別保育を担ってきた歴史的背景や法人立保育園のキャパシティ、地域の児童数推計等を踏まえ、民間活力を効果的に活用しながら、法人立保育園・公立保育園の協働のもと、再編を実施する。
- (5) 再編は中学校区を基本とするが、再編後の公立保育園は地域の子育て支援の拠点施設と位置づける。

【休園基準】

- ・新年度の入園申込終了時点において、2年連続で20人未満の入園児童数となる場合で、かつ、年度途中の入園児童数を見込んでも20人以上の確保が困難な場合は、休園のための協議を行う。
- ・新年度の入園申込終了時点で、入園見込み児童数が10人未満となる場合は、休園します。

【令和6年12月 計画の一部修正】

新型コロナウイルス感染症や能登半島地震による子ども達の身体的、精神的影響も大きく、保育環境の変化が最低限となるような配慮が必要と考え「計画期間」「公立保育園運営の休園基準」の修正を公表

・今後の出生数・入園児童数及び園舎の老朽化の状況等を見極めながら、計画期間を2年間程度延長し、子どもの心身の成長において最大限の配慮ができる柔軟な対応としてまいります。

本期間中においても、保護者やまちづくり関係団体等との意見を聴取し本計画の見直しを行ってまいります。

・10人未満の場合は休園するという休園基準による、画一的な対応はとらず保護者等の意見をお聞きしながら対応してまいります。

R 8年度保育園等の入園申込み

(公立)

【錦城中学校区】 (各年度4月1日現在)

	入園申込児童数						(令和8年度内訳)					
	H28	R4	R5	R6	R7	R8	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
大聖寺	34人	28人	20人	12人	14人	8人			0人	3人	2人	3人
錦城	23人	22人	19人	17人	13人	15人			1人	2人	8人	4人
三木	11人											

【橋立中学校区】

	入園申込児童数						(令和8年度内訳)					
	H28	R4	R5	R6	R7	R8	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
橋立	76人	62人	45人	45人	36人	31人	2人	4人	4人	10人	7人	4人

【片山津中学校区】

	入園申込児童数						(令和8年度内訳)					
	H28	R4	R5	R6	R7	R8	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
金明	36人											
湖北	35人											
潮津	12人											
スワトン		72人	64人	67人	69人	74人	2人	15人	14人	17人	13人	13人

【東和中学校区】

	入園申込児童数						(令和8年度内訳)					
	H28	R4	R5	R6	R7	R8	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
作見	52人	30人	21人	13人	9人	10人			0人	5人	3人	2人
動橋	152人	139人	136人	147人	137人	134人	5人	17人	23人	28人	29人	32人

【山代中学校区】

	入園申込児童数						(令和8年度内訳)					
	H28	R4	R5	R6	R7	R8	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
山代	16人											
加陽	69人	67人	65人	74人	62人	64人	3人	8人	14人	14人	13人	12人
庄	40人	19人	22人	18人	18人	14人			3人	2人	3人	6人
勅使	35人	14人	19人	12人	14人	6人			1人	1人	1人	3人
東谷口	27人	13人	11人	10人	13人	13人			2人	6人	1人	4人

【山中中学校区】

	入園申込児童数						(令和8年度内訳)					
	H28	R4	R5	R6	R7	R8	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
山中中央	45人	24人	25人	26人	22人	23人			4人	6人	0人	7人
河南	41人	31人	31人	33人	31人	25人			3人	2人	4人	9人

【合計】 417人 12人 51人 70人 92人 96人 96人

(法人立)

【錦城中学校区】 (各年度4月1日現在)

	入園申込児童数						(令和8年度内訳)					
	H28	R4	R5	R6	R7	R8	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
たちばな	133人	126人	123人	123人	124人	125人	5人	23人	24人	25人	22人	26人
清和	99人	82人	78人	62人	63人	59人	0人	12人	7人	16人	9人	15人
聖光	127人	121人	121人	111人	102人	88人	2人	9人	17人	18人	24人	18人
かが幼稚園	51人	42人	45人	41人	50人	44人		6人	9人	10人	14人	5人

【片山津中学校区】

	入園申込児童数						(令和8年度内訳)					
	H28	R4	R5	R6	R7	R8	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
いなみえん	232人	176人	160人	157人	144人	128人	3人	16人	22人	24人	36人	27人

【東和中学校区】

	入園申込児童数						(令和8年度内訳)					
	H28	R4	R5	R6	R7	R8	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
松が丘	176人	163人	167人	147人	143人	141人	5人	26人	23人	24人	30人	33人
清心	102人	100人	88人	89人	94人	99人	4人	19人	17人	22人	14人	23人

【山代中学校区】

	入園申込児童数						(令和8年度内訳)					
	H28	R4	R5	R6	R7	R8	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
やくおうえん	57人	48人	46人	41人	46人	46人	3人	7人	10人	7人	12人	7人
お2やくおうえん	14人	10人	8人	11人	12人	9人	0人	1人	1人	2人	3人	2人
わかたけ	141人	114人	121人	130人	130人	126人	1人	24人	28人	29人	29人	15人
新生	110人	101人	104人	102人	94人	81人	3人	10人	12人	18人	19人	19人
開陽	116人	97人	99人	99人	89人	84人	5人	11人	14人	16人	17人	21人

【山中中学校区】

	入園申込児童数						(令和8年度内訳)					
	H28	R4	R5	R6	R7	R8	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
ふたば	75人	71人	64人	61人	54人	52人	4人	4人	8人	10人	8人	18人
山中	77人	54人	54人	50人	47人	50人	1人	8人	13人	5人	13人	10人

【合計】 1,132人 35人 176人 205人 226人 250人 239人

今後のスケジュール（案）

日程	内容
令和8年 2月18日	令和7年度 第3回こども分科会(計画のプロセス、現状及び課題、見直しスケジュール)
令和8年 3月3日	令和7年度 第2回健康福祉審議会
令和8年 5月	令和8年度 第1回こども分科会（基礎データ、課題確認、保育の視点、アンケート、国の動向）
令和8年 7月	令和8年度 第2回こども分科会(素案)
令和8年 8月	令和8年度 第3回こども分科会(最終案)
令和8年 9月	「加賀市公立保育園再編計画」答申
令和8年 9月～	パブリックコメントの募集
令和8年 9月	計画の公表
令和8年10月	令和9年度 入園申込

【合意形成と市民意見の反映プロセス】

市民意見の収集

- ・タウンミーティング(子育て支援施策)
- ・ワークショップ(地区向けに開催)

保護者の意見収集

- ・在園児保護者を対象としたアンケート実施
- ・保護者によるワークショップ開催

庁内・専門的調整

- ・公共施設マネジメント特別委員会との調整(他施設との整合性を確認)
- ・こども分科会での最終的な意見集約

こども分科会の開催

令和7年度（2025）

第1回
令和7年
7月16日

- (1) 加賀市こども計画について
- (2) 令和6年度の活動等の実績について
 - ① 子育て応援ステーションについて
 - ② こども育成相談センターについて
 - ③ かがにこにこパークについて
 - ④ 児童センターの利用状況について
 - ⑤ 加賀市保育ビジョンの取り組みについて
- (3) 加賀市の現状等(令和7年4月1日)について
- (4) 令和7年度の主な事業について
 - ① 創造性をはぐくむ保育実践事業について
 - ② 地域子育て相談機関（児童センター）設置事業について
 - ③ プレコンセプションケア推進事業について
 - ④ 保育士確保・定着事業について
 - ⑤ 山中温泉文化会館等跡地周辺整備事業について
- (5) その他
 - ① 加賀市子ども未来基金について
 - ② 地域共生社会推進全国サミットinかが

こども分科会の開催

第2回
令和7年
9月24日

- (1) 児童発達支援センターの設置について
- (2) 医療費助成療費受給者証のマイナンバーカードへの一体化等について
- (3) 放課後児童クラブ等におけるICT化推進事業について
- (4) 医療的ケア児等の個別避難計画の作成について
- (5) こども誰でも通園制度について
- (6) にこにこパークの指定管理者の選定について
- (7) その他
 - ・加賀市子ども未来基金について
 - ・「地域共生社会推進全国サミットinかが」について
 - ・プレコンセプションケア周知啓発講座について

第3回
令和8年
2月18日

- (1) 「こどもと共に歩むまちづくり」について
- (2) 令和8年度保育園等の入園申込みについて
- (3) 加賀市公立保育園再編基本計画について
- (4) 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）について
- (5) 健康福祉審議会こども分科会の専門部会の設置について
- (6) 加賀市子ども未来基金活用事業の募集（要綱の見直し）について
- (7) その他
 - ① 令和7年度の主な事業について
 - ② 物価高対応子育て応援手当